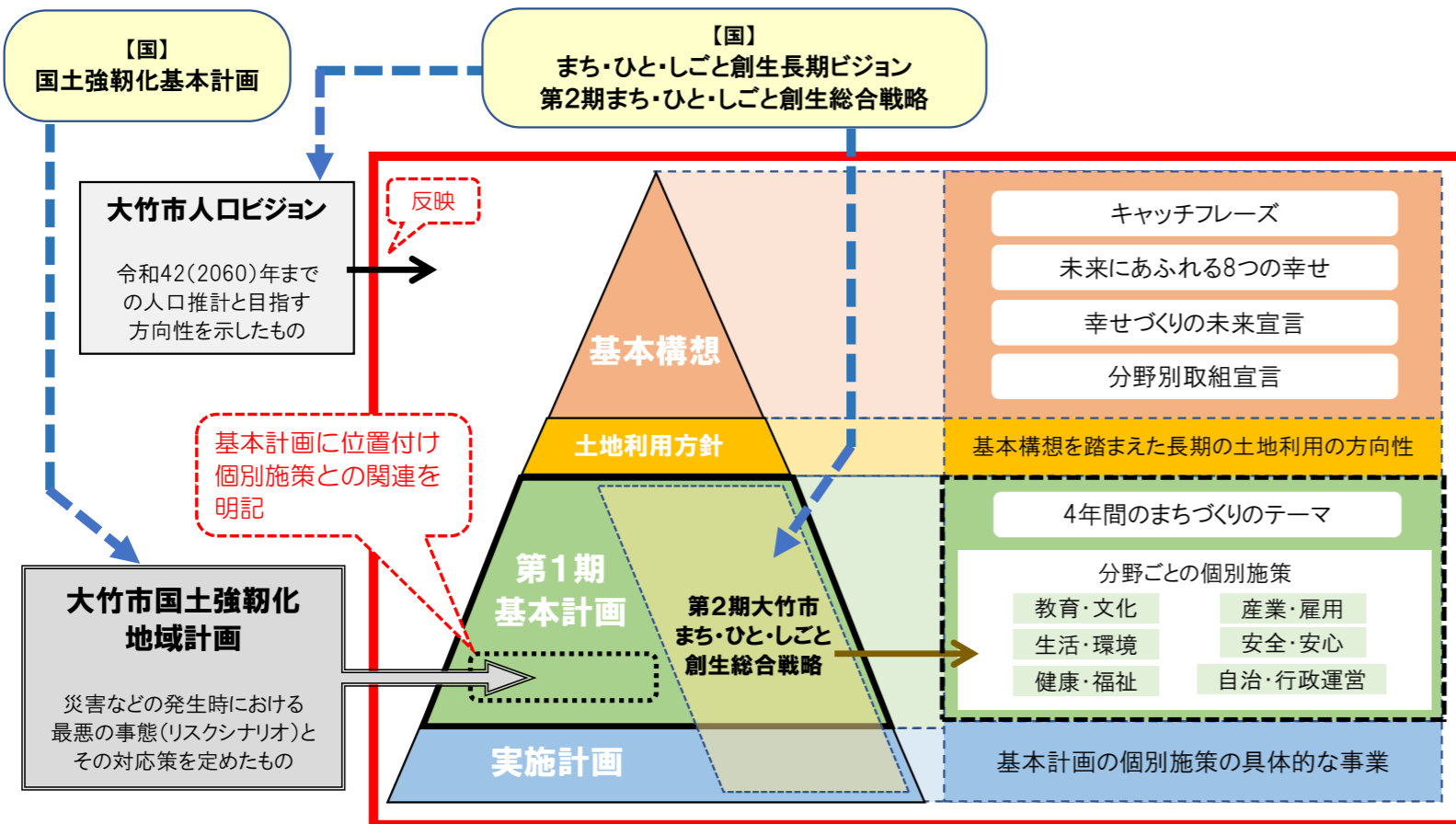


【位置付け】本市のまちづくりに関する最上位計画

- ・基本構想 … 終期を定めず、未来のまちの理想の姿を定めたもの
- ・基本計画 … 基本構想が示すまちの将来像の実現に向けた中・長期的な施策等の方向性を定めたもの【期間:5年, 第1期のみ4年】
- ・実施計画 … 基本計画に定める各施策の具体的な事業内容を定めたもの【期間:5年, 毎年度見直しを実施】



社会潮流

人口減少, 少子化・高齢化, 健康寿命の延伸, 働き方の変化, 災害対応, 環境問題, インフラなどの更新活用, 地域コミュニティの維持・強化, 情報通信技術の発達…etc

★SDGsの取組★

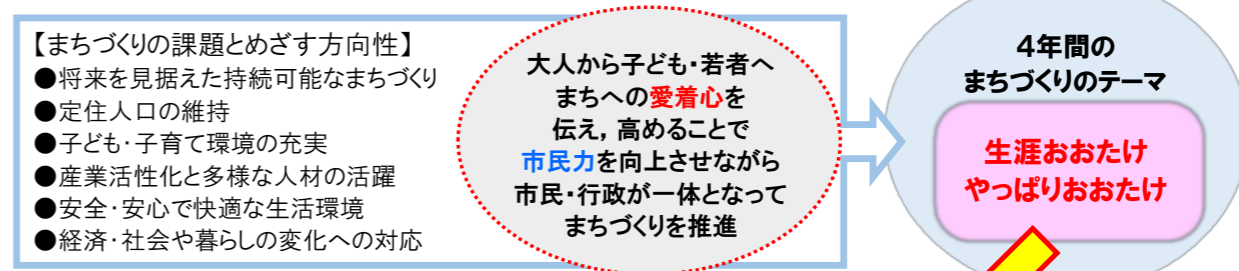
「誰一人取り残さない社会」の実現のため世界各国で取り組む17の「持続可能な開発目標」
→地方創生への活用
(総合戦略の横断的な目標)

市の現況

【人口】
★年少人口・生産年齢人口は減少傾向
★高齢者人口は増加
【産業・経済】
★就業者数は1次・2次産業減, 3次産業増(生産額等は増加傾向または一定水準維持)
★観光客数は増加傾向
【防災】
★近年の大災害を受け自主防災組織率上昇
【財政】
★経常収支比率が高く財政構造の弾力性低下, 実質公債費比率・将来負担比率が高い

市民意向

【市民アンケート】
★「暮らしやすい」(76.2%)⇒「生活基盤が整っていて便利」など
★「暮らしにくい」(19.9%)⇒「買い物等の施設がなく不便」など
★まちに「愛着を感じる」(59.9%)⇒「生まれ育ったまちだから」「長年住んでいるから」など
★「愛着を感じない」(31.7%)⇒「特徴・魅力がない」
【幸せ感に関するアンケート】
★どの年齢層も「幸せ」を感じているが若年層が低い(7年前からも減少)
★「生活インフラ」「安全」などは比較的満足度が高く、「自分の地域が好き」も8割近い一方、「大竹のよいところを知っている」「ボランティアなど地域の役に立ちたい」が低く, 減少傾向



基本構想

キャッチフレーズ	未来にあふれる8つの幸せ	未来宣言	分野別取組宣言
笑顔・元気がややく大竹	豊かな自然と共存できる幸せ	●自然・暮らし・産業が調和した魅力あふれるまちをつくります	教育・文化 産業・雇用 生活・環境 安全・安心 健康・福祉 ↑後押しする力 自治・行政運営
	笑顔と優しさに包まれる幸せ		
	やりがいと生きがいを感じられる幸せ	●あたたかい心で支え合い, 笑顔が生まれるまちをつくります	
	子どもが健やかに育つ幸せ		
	生涯安心して過ごせる幸せ	●新しい歴史と文化の創り手として, 未来に誇れるふるさつをつくります	
	安全で快適に暮らせる幸せ		
	大好きなまちで生きられる幸せ		
	誰もが活躍できる幸せ		

第1期基本計画

【令和3(2021)～令和6(2024)年度】

分野ごとの個別施策

まちづくりのテーマ

生涯おおたけ やっぱりおおたけ

【教育・文化】

子どもの学びと成長を支える教育の充実/未来を担う青少年の健全な育成/生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進/豊かな心と体を育むスポーツの推進/まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進/一人ひとりの人権と多様性を尊重する社会づくり

【生活・環境】

快適で魅力的な都市空間の創造/きれいで利便性の高い道路環境の創造/生活を支える公共交通の充実/まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備/住みよさと安心を生む住宅政策/癒しと遊びを提供する公園・緑地の整備/生活環境を支える上下水道の整備/自然環境にやさしい持続可能なまちづくり/暮らしに配慮した墓地・斎場の管理

【健康・福祉】

生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援/子どもと子育てを支える支援体制の充実/障害のある人が自分らしく生きるための支援/見守り支え合う地域福祉の推進/元気・健康・安心をつくる保健・医療体制の充実/正しい食生活と食文化を学ぶ食育の推進

【自治・行政運営】
市民と行政の協働による地域づくり/将来を見据えた計画的で効率的な行財政運営/上下水道事業・土地開発公社の健全な経営/時代に対応した情報政策とまちの魅力発信

国土強靱化地域計画

関連する個別施策に紐付け

SDGsの17の開発目標

関連する個別施策に紐付け